



公益社団法人 受動喫煙撲滅機構 HP から 出典：厚生労働省 e-ヘルスネット「三次喫煙」



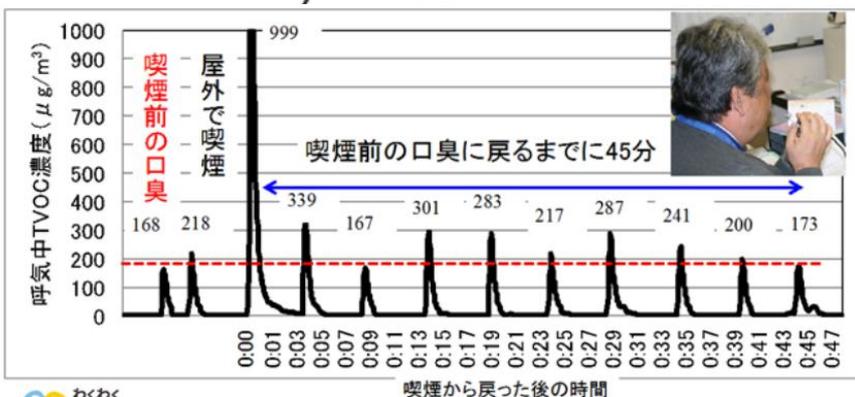
県民だより奈良「奈良養生訓」から

タバコの煙は喫煙者本人だけが吸い込むのではなく、周りの人も吸わされています。これを受動喫煙と呼ぶことは知っていますよね。この受動喫煙には、左図の漫画のように「二次喫煙」と「三次喫煙」があります。

三次喫煙は、喫煙者が吸い終わった後に残った有害成分を吸い込む事で「サードハンドスモーク」とか「残留受動喫煙」とも呼ばれています。煙がなくてもニオイがする場合がありますが、これがサードハンドスモークなのです。

いわゆる“タバコのニオイ”を感じた時はサードハンドスモークの被害を受けているわけですが、このニオイを不快に感じる人は多く、頭痛や吐き気をもよおす場合も少なくありません。タバコを吸い終わったからと言って、他人への受動喫煙の心配がなくなるわけではないのです。

たとえば、喫煙者の髪の毛や服にはニオイがしみついています。それに、下のグラフのように喫煙した人の口臭からタバコのニオイがなくなるのに、吸い終わってから45分かかるとのことです。だから、吸い終わった直後に接する人にはサードハンドスモークをさせているわけです。とりわけ直後に同乗したエレベータ内の人たちには、かなり不愉快な思いをさせてしまいます。



他人に迷惑をかけずにタバコを吸うには、喫煙後も注意しなければいけない事を知っておいて下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久